基礎スペイン語Ⅷ

科目ナンバリング　SPA-108
必修　　1単位

ﾓﾗﾚｽ　ﾊｲﾒ

1. 授業の概要（ねらい）

後期の全体的な目標は、会話でのコミュニケーションに重点を置いて、過去の出来事について話せるようになることです。言語習得に必要な4つのスキル（聞く、話す、読む、書く）を即興で行うことで、過去形の使用と言葉によるコミュニケーション能力を強化させます。
後期終了時の目標は、学習した知識を応用して、過去の日常生活、過去の出来事、最近の行動を説明できるようにすることです。
現在と過去の出来事の両方の話題をあげて、スピーチをまとめられるようにします。

2. 授業の到達目標

現在形の文章をベースに、過去の出来事を伝える練習をします。
初めに過去形の活用と使い方を学びます。続く2回の授業で、グループ別に学んだ過去形を使った口頭発表をします。学生はその為の事前準備が必要です。
この学習を通じて、言語習得に必要な4つのスキル（聞く、話す、読む、書く）の強化を目指します。
後期終了時には、過去の出来事について話したり、過去の日常的な状況を説明したり、一般的にスペイン語で伝えたい事を表現できるようになります。

3. 成績評価の方法および基準

成績評価は、期末試験、3回の口頭発表、授業への参加と出席率の評価に基づいて行います。欠席が6回以上になると試験を受けられません。
期末試験　30%
口頭発表（3x20%）60%
平常点　10%

4. 教科書・参考文献

教科書
ラテン文化センター横浜　CCLY　グループワーク　「La Puerta al Español」
ISBN 978-4-600-00061-5　特定非営利活動法人 YOKOHAMA LANGUAGE STUDIES CENTER　(NPO-YLSC)
それぞれのテーマごとのプリント(必須)

5. 準備学修の内容

学生は授業の前にテーマについて読んでおくこと。

6. その他履修上の注意事項

スペイン語の歌を聞いて、リスニング力を伸ばしましょう。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション／前学期のまとめ
【第2回】　動詞の形：他動詞と自動詞
【第3回】　「Gustar形」動詞・再帰動詞・相互動詞
【第4回】　直説法線過去（使い方と活用）
【第5回】　過去の習慣に関する発表の準備
【第6回】　口頭発表：「子供の頃」（20%）
【第7回】　直説法点過去（使い方と活用）
【第8回】　直説法点過去の演習
【第9回】　過去の出来事に関する発表の準備
【第10回】　口頭発表：「最後の休暇」（20%）
【第11回】　直説法現在完了（使い方と活用）
【第12回】　直説法過去完了（使い方と活用）
【第13回】　最近の出来事に関する発表の準備
【第14回】　口頭発表：「今日は最低な日だった」（20%）
【第15回】　期末試験（30%）